

令和6年5月8日(水)に開催した令和6年度第2回公立大学法人静岡文化芸術大学役員会の結果は次のとおりである。

1 議案

(1) 第1号議案 「助教」職の設置について

ア 趣旨

事務局から、将来大学教員や研究者になることが期待される者を養成することや、本学の教育研究の活力維持を目的として、新たに、本学の教育研究組織に「助教」職を設置する旨の説明があった。

イ 主な意見・質問

・形式的に考えると、教授と准教授が減り、助教が増えることになるが、結果として大学の運営や教育の質に支障が出ないように注意すべきである。

・芸術系の大学では、このようなキャリアパスがあまり見られないが、助教を設置することでどのような効果を見込んでいるのか。

→助教から任期の定めのない教員となるルートを開くことを考えた提案となっている。助教の任期の間に集中して然るべき研究成果をあげ、構成員として必要な能力を伸ばしてもらいたい。

ウ 審議結果

審議を踏まえ、議決された。

(2) 教員の任期付き採用制度の導入について

ア 趣旨

事務局から、優秀な教員人材の確保により、本学の教育研究環境の整備を図るため、教員の任期付き採用制度を導入する旨、また、関連する規程の制定・改正を行う旨の説明があった。

イ 主な意見・質問

・任期を全うした後、「任期の定めのない」ポストにつくことが基本の想定なのか。

→状況にもよるが、原則としては、「任期の定めのない」ポストを見据えた制度である。

ウ 審議結果

審議を踏まえ、議決された。

(3) 受託事業について

ア 趣旨

事務局から、袋井市からの受託予定の「市民文化活動推進事業業務」をはじめとする計4件の受託事業について説明があり、教員の監修のもと、高い教育効果が期待できることから、受託したい旨の提案があった。

イ 主な意見・質問

特になし。

ウ 審議結果

審議を踏まえ、議決された。

2 報告事項

(1) 令和5(2023)年度就職実績について

事務局から、令和5年度の就職実績について報告があった。

以上